

平成 30 年度 苫小牧市公民館運営審議会・図書館協議会 定例会議

平成 30 年 5 月 24 日（木）午後 2 時 30 分

苫小牧市立中央図書館 2 階講堂

【議事】

事務局 それでは、これから議事の進行となります。これより議事進行を松井会長にお願いいたします。

議長 それでは議事を進めていきたいと思えます。始めに議事（1）苫小牧市公民館運営審議会委員・図書館協議会委員の兼任の解除について、ご説明をお願いします。

< 以下教育部次長より資料に基づいて説明 >

議長 ありがとうございます。ただいま説明のありました委員の兼任の解除について、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

< 質問なし。承認 >

議長 それでは公民館運営審議会と図書館協議会の委員の兼任は解除されるということで進めていただきたいと思います。次回6月からはそれぞれ別々ということになりますので、同時に行うのは今日が最後となります。

議長 続きまして議事の（2）勇弘公民館の運営について、事業報告と事業計画についてまとめご説明をお願いいたします。

< 以下公民館館長より資料に基づいて説明 >

< 質問・意見なし。承認 >

議長 続きまして議事の（3）中央図書館の運営について、事業報告と事業計画についてまとめご説明をお願いいたします。

< 中央図書館館長より資料に基づいて説明 >

議長 ただいま説明のありました中央図書館の運営について、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

委員 図書館要覧の 15 ページで、中央図書館事業一覧がありますが、29 年度には実施しておらず、30 年度から開始する新規事業はいくつありますか。またどちらになりますか。

委員 例えばNO13の「ぶっく・のーと配布事業」はお薬手帳のようで良い事業だと思いますが、いつ頃配布されるのでしょうか。

館長 これはもうずっと行っている事業ですが、配布時期は毎年だいたい4月と10月です。500部ずつになります。今も児童コーナーでは配布を行っていますので、よろしければお帰りの際にお持ち下さい。また新規事業につきましては、4番の映像資料の貸し出し、14番の図書館ワークショップ、15番の読みメンお話し会、16番の絵本ニコニコ撮影会、29番の終日ミニシアター、39番の図書館コンシェルジュになります。

議長 今回の要覧の事業一覧というのは、今説明いただいたのが主要事業だからでしょうか。

館長 事業全部を紹介というのは数がかなり多くありますので、主要事業の報告も計画も一部をピックアップしてご説明いたしました。

議長 他に質問はありますか。

委員 先ほどの定例会議説明資料(2)の利用統計主要サービス統計のところですが、レファレンスの件数が前年度より増えていて、そちらについては大変良かったと思いますが、先ほどもおっしゃっていたように、今年度丁寧に取り組んでいかなくてはならないとおっしゃっていた入館者数と、利用人数が若干ではありますが減っています。こちらの理由としては単純に人口減のところでの減少とお考えですか。それとも何かほかの理由や根拠があって、それを基に30年度、何か対策をお考えになっていますか。

館長 人口減が全く関係ないという嘘になると思います。利用人数が前年度より落ちているということに関しては、はっきりとした原因は分かっておりません。苫小牧以外の市町村でも、29年度になって減少した、減少幅が大きくなったという話は耳にしています。原因がはっきりしない状況では対策が打てないのではないかとご心配があるかと思いますが、登録者数増について対策を考えた場合、今まで以上に広報を行い、図書館利用をまだされていない方々への図書館周知、利用を促すピーアールの部分と、今まで使っていただいている方々へ、さらに資料・施設利活用を促すといった両側面での強化を図っていこうと考えております。

議長 入館者はどうやって調べているのですか。

館長 1階のエントランスから入るフロアのところに計数機械がありますので、そちらで自動カウントしています。

議長 他はどうですか。

委員 評価シートのところでお話ししようと思っていたのですが、今同じ様なお話が出ましたので話します。今の話に関連して、要覧の 19 ページの 3・4 に年度別館別貸出人数貸出資料数があります。これを見た時に平成 29 年度貸出資料数の中央図書館の件数が昨年度より落ちています。そして、移動図書館もかなり落ちています。図書コーナーは逆に盛り返していますが、こういった分析になりますか。

館長 図書コーナーにつきましては 28 年度に豊川コミセンが休館していました。前年比で増加したのはその違いが大きいと思っています。また、豊川コミセンの休館中、その代替として平成 28 年度に豊川コミセン近郊に移動図書館車の巡回ステーションを設けました。豊川コミセン休館の間、今まで豊川コミセンを使われていた方は、その 1 年だけその移動図書館巡回ステーションをご利用いただいていた。豊川コミセンが改築オープンしたことで移動図書館の巡回もなくなり、移動図書館を利用されていた方も豊川コミセンへ戻られたと考えています。

委員 豊川コミセンが閉まったのは 27 年度ですか。

館長 28 年度です。

委員 では 27 年度の貸出冊数は 26,376 点という数字だったので、28 年度は上がるのは分かります。ですが 29 年度の点数はそこまで戻っていません。

館長 他に考えられる要因として移動図書館車は主な利用者として、年配の方とお子さんが挙げられます。昨年度移動図書館車の様子を実際に見に行きましたが、特に年配の方の利用が非常に多いという印象です。そうすると人口の減少や高齢化といった部分も無関係ではないとは考えています。

委員 なかなか読み切れない部分ではありますね。ただ、いろいろな計画事業をほぼ全て実施していて、その結果が残念ながら数字に表れていないというのが残念ですので、何かしなければいけないと思います。

館長 移動図書館車で昨年 29 年度から、苫小牧駅前の高齢者施設Ⅲに団体貸出を行っておりました。平成 30 年度からそこを一般の方もつかえるサービスポイントとして巡回しています。駅前というところもあるので、そちらの場所で利用が増えないかと期待をしています。

委員 以前にイオンなども巡回場所として増やしましたか？

館長 イオンとパセオ、人が集まるところにと巡回ポイントを増やしました。

委員 いろいろな取組を一生懸命にやっているのに、数字が伸びなかったのが残念です。

議長 他にありませんでしょうか。この後の評価部分になりますが、内容が多いので事業、運営の部分だけの質問等がありましたらお願いします。

委員 定例会議説明資料（１）主要事業報告のカテゴリーの上から二つ目ですが、障がい者、高齢者に対する電話予約サービスの開始を１月４日よりとなっていますが、いかがでしょうか。

館長 今のところお問い合わせは数件ありましたが、お申し込みが来ておりません。

委員 利用がなかった理由は、何か考えられることはありますか。

館長 この事業は新聞記事に載せていただいて周知したものになります。図書館としてはお電話で予約ができるので、初回は申込みに来館していただきますが、図書館へ足を運ぶ回数を１回でも減らした方が楽になるかと想定し、高齢者、障がい者の方向けのサービスとして開始しましたが、まだ利用がありませんので、利便性がもっと伝わればと感じています。

委員 このサービスについてですが、予約はお電話でできるが、カードを持っていない方は１回来館しなければいけないということですか。

館長 まず、図書館カードを作っていただきます。また既に図書館カードを作られた方でも、一度電話予約サービスを使いたいとお申し出いただく必要があります。

委員 それは来館しなければいけないのですか。

館長 電話だと本人確認が困難ですので来館が必要です。来館していただき、この方は電話予約をご希望されているということをご確認ください。年齢、障害者手帳などを拝見させていただきます。障害者手帳をお持ちの方の年齢は問いません。一度、サービスの利用要件を書面等で確認させていただいて、それ以降は電話で予約を受け付けております。

委員 予約した本を受け取る際には来館が必要ですか。

館長 受け取り時は貸出手续が必要ですので、来館していただきます。ただし、今日は本棚から本は借りないけれども、予約のためだけに図書館へ行かなければならないという事が、一度でも減ればと考えました。

委員 もう一つ、障がい者、高齢者と書いてありますが、高齢者は何歳以上になりますか。

館長 高齢者の要件は 75 歳以上としています。

委員 障がい者の方はどうなりますか。

館長 こちらは障害者手帳をお持ちの方としています。

委員 大変良いサービスだと思うので、さらに使いやすい方法をご検討いただけたらと思います。普段高齢者と接することが多い職場にいまして、冬場は特に道が凍ってしまうので外出できないという高齢者の方が多いと感じています。そういう方々に図書館資料などを提供できるシステムがあればいいと思います。ご検討よろしくお願いします。

館長 移動図書館車での受け取りという方法もあるかとも思います。

委員 本当にごみを出すのもできない、外に出ることができないという方もおりますので、検討下さい。

議長 他にはどうでしょうか。

委員 アンケートを拝見していて特に目についたのが、図書の検索についての不満が多いということです。一つは反応が遅い、後はやり方が難しい、やりにくいという二点あるようですが、これは何かシステムに問題があるのですか。システムに問題があるのか、利用者の方がただそう感じておられるのか、どうでしょうか。

館長 不具合はありません。

委員 反応が遅いというのは能力的に低いということですか。

事務局 生涯学習課の方でシステムを管理させていただいています。他市の図書システムに比べて、反応が遅いという話を聞いております。システム会社に原因等の究明をしてもらいましたが、今のシステムと機械は、正常に動いている状態です。他市のシステムや、以前のシステムと比べて使いにくい、使い方や検索画面の表示が違うので分かりにくいというようなお話が出ていることは把握しております。6月にシステム更新がございまして、その時に改善できるようにシステム会社と協議しておりますので、もうすぐ解消されるかと思っています。

委員 図書館および市の側としては、特に今不具合があるという風には考えておらず、利用者の方がそう感じておられるということでしょうか。

事務局 確かに他市のインターネット検索などをしてみたときに、そちらの方が早いとは感じます。今回のシステム更新では解決できるように努めたいと思います。

委員 システム更新というのは全面更新ですか、一部更新ですか。

事務局 今回は全面的な更新になります。

委員 全面更新ですか。ではまた状況が変わりますね。

議長 確認したいのですが。この定例会議説明会資料の主要事業報告のカテゴリーはどこで示されているのでしょうか。

館長 どこということはなく、主要事業にどういった内容が当たるかということで、今回作ったものです。

議長 それでは児童読書という言葉ですが、これがずいぶん対象を絞っているなど感じます。子ども読書で良いのではないのでしょうか。児童というと小学生までになりますので。

館長 子どもの読書推進という風に修正します。

< 事業報告、計画への質問終了 >

議長 それでは、この後評価の方でも細かなところのご意見いただきたいと思います。では議題の（４）中央図書館点検と評価に移りたいと思います。前回からこの評価シートの形で評価されていますが、今回はこの場ではあまり記入せず、後日提出としていました。今回は、本日が任期の最後になりますので、できるだけ本日提出していただければと思います。どうしてもという場合は一度持ち帰ってもかまいませんが、なるべく本日ご提出をお願いします。私が回収後、まとめたものを皆さんに確認いただいてから、事務局へ提出したいと思います。意見交換と書面を並行していきたいと思いますので、よろしくをお願いします。では評価と点検について中央図書館からお願いします。

< 中央図書館館長より資料に基づいて説明 >

議長 意見交換として項目ごとに時間を取りたいと思います。どのようなことを書いたのかという点と、ご質問なども併せてご発言いただけたらと思います。基本目標１から評価シートに書いてあることがあれば順番に読んでいってください。

委員 １ページ目、蔵書整備事業です。先日、私が借りたい本が閉架所蔵だったため、数分程度待たなければならぬかと思ったのですが、カウンターの職員さんがすぐに出してくれました。その様子に待遇が徹底されているなど感じました。

委員 すみません、議長。都合で退席しなければなりませんので、先によろしいでしょうか。中央図書館には来るたびに気持ちよく利用させていただいて、大好きな場所ですが、

気になるのが、高齢者や保護者が忙しく、図書館やコミュニティセンターに足を運べないお子さんなど、誰もが使いやすい図書館であってほしいといつも思っています。そこで、アンケートの実施なのですけれども、来館者の皆さんにアンケートを作成、集計、評価するという事は素晴らしいと思うのですが、普段来館されない一般市民に向けて図書館に対する利用のしやすさ、なぜ来館できないのか、どうしたら来館できるのかといったところのすくいあげがあると、もっと嬉しく思います。大変なこととは思いますが、広く一般市民からの意見を聞く機会が必要と感じています。そのことによって既存のサービスの充実や見直しなど、新しいサービスの在り方について見えてくるものがあるのではとも考えています。今後ともよろしく願いいたします。

<委員 1名退席>

委員 私は0~6歳の幼児の貸出が、昨年度よりも伸びていることは良いことだと思います。小さなお子さんのお母さんたちが絵本を読んで聞かせていることが多いので、そういった借りられる機会を作ってあげられれば良いと感じました。

議長 ありがとうございます。今の評価は基本目標2の部分ですね。

委員 私は基本目標1から、評価する点としましては当初計画された事業をすべて計画とおりに実施されている点、ここを評価します。また改善を要する点については、計画とおりにやっているが、来館者数及び貸出点数が前年比減だということは深刻な問題であると考えます。よって原因の分析と対策が必要であり、今やっている事業と違うことをやらなければいけないのではないかと、という風を感じました。

委員 評価する点ですが、レファレンス機能が、五年前の指定管理が入る以前はほとんど利用がなかったと聞いたことがあります。そこから見ると今数字として、レファレンスの件数が伸びているということは、図書館へ行くことで、自分が分からないことを教えてもらえるという周知が少し広まってきているのではないかと、という点は、職員の方々が地道に少しずつ努力してきた結果だと思いました。改善を要する点は、足を運んでいない一般の市民から見ると、そういう情報拠点としての機能はまだまだ周知されていないところがあると思っています。難しいとは思いますが、今後とも取り組んでいただきたいと思います。

議長 レファレンスに関して私からもあります。委員のおっしゃったとおり、数年前に比べると件数が増えています。例えばインターネット、ホームページからレファレンスができないかと思ったことがあります。図書館に来られなくとも質問ができるという形です。

館長 メールで調査依頼が来た場合は、メールで回答を行っています。

議長 あとはホームページの過去のレファレンス例がかなり古く 2012 年くらいになっています。もっと新しいものを載せても良いと思います。

委員 図書館でボランティアを 15 年ほどやっております。インターネットサービスが充実してきたと感じます。図書館でブログを始めたということで見ましたが図書館の内容だけではなく、公園の桜情報なども面白く出ていました。そういったものを見ることで、また付随した情報を出すことで、足を運ぶ人、興味を持つ人も増えるのではないかと、良いことだし、楽しいことだと思いました。それから図書館カードの枚数の件、以前にも話題に出ていたと思うのですが、今までの図書館の利用者カード保有者の年齢層についてです。どういった年齢層が登録してきたのか、カード登録がない年齢層はどこかを把握することで、アピールというのは変わってくるのではないかと思います。

館長 新規登録については、図書館要覧の 17 ページで内訳を掲載しています。

委員 この数字は新規登録者数ですね。

館長 はい、平成 29 年度の数字です。

委員 今までの登録全体を一回確認することも必要なのではと思いました。

館長 今までの図書館カードの登録者全体の年齢層についてということでしょうか。

委員 そうです。

委員 報告書 2 番の ICT 環境については、個人で持つようになったので、必要性が低下しているとあります。もう 20 年前ですが、まだ一般にインターネットが普及していない時に、図書館にインターネットコーナーができて大盛況だったのを覚えています。今は状況が全然違いますが、だから必要ないではなく、公共施設として環境を維持していくと書かれているのは非常に良いと思いました。またそれらの機器をあまり使えない方に指導していく、いわゆる情報格差、デジタルディバイドを生まないために、公共施設としてやるべきことなので、素晴らしいと思います。継続してやるべきと思います。もう一点は去年もありましたが、図書館のポリシーかもしれませんが、人気図書を複数冊購入しないというお考えについてです。今年のアンケートではあまりありませんでしたが、前年度は意見が多くありました。複数冊購入しないという考え方ですが、貸出などを増やすという数字のことを考えると、これはやった方が増えるのではないかとと思うのですが。

館長 苫小牧市の図書館は胆振管内でかなり大きい規模の図書館です。他の図書館に苫小牧から貸出すという相互貸借システムを考えると、種類をそろえ、幅広い内容の本を持つということが重要な役割だと考えます。また複数本を買うことを図書館全体で考えた時に、

出版への影響など色々話題になる部分です。資料の購入冊数は直営時と変わらず進めたいと思います。

議長 今日私も本を借りました。この本を1月に予約して、一昨日連絡いただいたので4か月程待ったことになります。このあたりは難しいですね。

館長 購入に関しては、無制限にというのは難しいです。資料をご寄贈いただいた際には、人気のある本はすぐに受け入れをして提供できるようにしています。

議長 待つ期間がもっと長く、半年ほど待つ場合もありますね。

館長 お客様にお渡しするまでに時間が掛かるという点は、苫小牧だけでなくどこの図書館でも出る話題です。加えて期間を長いと感じるか短いと感じるかは、皆様お一人お一人の感じ方というところもあります。心苦しくないという嘘になりますし、お待たせして申し訳ないという気持ちもありますが、限りある予算の中で、苫小牧市の図書館の役割を考えた時に、複冊で人気のある本を揃える以外の役割を果たしていきたいと思います。

議長 学校図書館も予算が潤沢ではないので複本では揃えられないというのはよくわかります。

館長 今おっしゃられたとおり学校図書館のフォローを考えると、中央図書館がバックアップをして、学校司書の本であったり、教員の本を揃えるという所も大事な役割だと思います。

議長 蔵書整備ということで資料の受入が指針に書いてありますが、記載がなかった廃棄の関係についてです。前回協議会の委員をやっていた6年前に指定管理を入れる話がでていました。最後の答申には関わっていませんが、その際に話題になっていたのが資料選定や廃棄の一貫性、継続性が指定管理業者へ変わるかもしれないという状況で担保されるのかということでした。指定管理受託期間の廃棄の話というのはよく知りませんが、特段廃棄についての意見や困ったことというのではないのでしょうか。

館長 困ったというのは、私共、指定管理者が困ったということでしょうか。

議長 いえ、市民の方からです。アンケートでも特に記載がないようですが、廃棄について記載することはなかったということでしょうか。

館長 資料の除籍をするときには、元々除籍の基準がありますので、それに合わせて私共で除籍リストを作って、教育委員会と確認していくという形で進めています。

議長 指定管理導入前に心配された様なことにはなっていないということでしょうか。

館長 除籍基準に則ってという所で慎重に行っています。

議長 市教委の方が除籍の前にチェックするということでしょうか。

館長 はい。

議長 室蘭図書館の元館長のお話しを聞いた際に、廃棄予定の資料を待つように止めたところ、それが国会図書館にもない貴重資料だったという話がありました。そういった話を聞くと、本当に分からないまま廃棄されてしまうことは怖いことだと思います。指定管理導入前に皆がそういったことを心配して廃棄の話をしていたのかなと感じます。二重チェック、三重チェックをしてそういう事態が無いようにと思っていました。

館長 図書館でもスタッフに郷土に関する講座、研修を行っております。また参考郷土の担当者は別途道立図書館の研修に行くなどして、館全体の研修を図っております。

議長 分かりました。それでは指標2の方に行きたいと思います。

委員 改善を要する点とまではいきませんが、スクールメール便の貸出件数が一割以上減少しているというのが気になります。これはなぜなのでしょう。

館長 まずブックちゃんについては平成28年10月に内容改編を行いました。学校図書館部会の先生方に直接どういった内容の物が学校で利用が高いか相談をして、その上で改編をしたところ、かなり利用数が伸びました。その利用の伸びた28年度との前年比が29年度の結果です。図書館要覧20ページにもブックちゃんの貸出セットの記載がありますが、前年の28年度と記載の中で最も利用のあった25年度までは届いておりませんが、指定管理が始まってから2番目の利用数となっています。利用数が前年比で166から142と落ちてはいますが、27年度、26年度より多くなっていますので、やはり改編の意味が大きかったと考えています。平成30年度も改編に先生方のご協力いただいて行っていきます。

委員 分かりました。お話しでも出ていましたが学校司書との協力や、学校との連携というのは非常に重要な事業だと思っていますので、ぜひ継続してほしいと思います。

委員 少し重複するかもしれないのですが、29年度から中学生のセットを用意されてというお話があったかと思います。どうしても小学生や中学生、学年が上がるにつれて、読書の機会がなくなるので、そういった意味では朝読書をやっている学校があると思うので、中学生にとって読書の、本を読む、本を手にとるといった足掛かりになるのではないかと、良い取り組みだったと思っています。改善を要する点では先ほどの話と重なりますが、小学校に発送する内容を変えられたというお話がありました。

図書館要覧で 20 ページの 3-7 にある 29 年度の利用表に、それまで 17/24 と表示されていたのが 20/39 という数字になっています。これまでは小学校のみで 24 校、29 年度からは中学校も対象に増えたので 39 校という表示になったということでしょうか。

館長 そうです。

委員 市内の小中学校全てに発送するという意味で 39 校全てが対象。対象が増えたのに利用数は 20 校までしか増えていないという所と、中学校の利用が新規で好調だったという所を考えると、15 校中学校分で増えたのに、利用が 3 校しか増えていないこととなります。また利用件数、セット貸出数が減っているという所で、以前小学校へ貸出する際に、学校は同じ時期に同じ授業をやっているのに、同じものを皆さん希望されるので大変であるというお話がありました。そういうことも含めて改善は進んでいるのかとも思います。利用状況についての検討をしてほしいと改善点のところに記載しました。

館長 承知しました。昨年度からの利用増に関連しますが、一つのセットの資料数を減らし、持ち運びしやすいようにしました。今までの 40, 50 冊というのは、先生によっては持っていくのも大変、かつセット数を増やしたいということもありましたので、一セットを冊数を減らしコンパクトにして、ミニセットとしました。一つの内容だったものを分割したセットもあり、そういった工夫で依頼が一つのセットに集中しないようにしています。ミニセットが好評ということもあるので、昨年度の反応を振り返ったうえで、今年度も進めていこうと思います。

議長 ミニというのはそういう補足なのですね。学校に関係の本が 1 冊もないわけではないので、学校の本では足りない時に使うのなら、40 冊でなくともいいですね。複数セットになれば同時に借りられるので良いかと思います。

館長 学校図書館部会の先生方にもご協力をお願いしますが、ミニセットで増やしていくことを進めて、同時に借りられるのであれば 2 セット貸し出す方法も良いかと改めて感じました。

委員 図書館にある大活字本や朗読テープは障がい者向けに置いていると思いますが、あれを一般の方に利用してもらってもいいと思います。小さい字が読みづらくなったという時や、耳で聞く読書など、そういう活用のピーアールをしたらもっと棚から動くのではないかと思いますので、もう一度視点を変えてみてはいかがでしょうか。

議長 私は学校関係者ですので、学校図書館部会と図書館と一緒にやっているところがいつも伝わってきておりました。中学校向けのブックちゃん、様々なコンクールについても大変良いと思います。学校も子供たちの読書に向けて活動していますが、やはりあの手この手が必要です。学校のあの手、図書館のこの手という風にいるから手を取り合ってやっていきたいと思っております。また先ほど 30 年度のところで学校支援

を大事に考えていてくれていることは大変うれしく思います。

議長 それでは3番目、意見があればお願いします。

委員 アンケートの中でトイレに関しての意見が非常に多くあった点は大変気になりました。こちらは市にお願いしなければと思いますが、やはり具体的に改善するタイミングを示さなくてはと思います。手入れはちゃんと行き届いています。ただ床は黒くなっているし、照明、機器も古さを感じます。やはり使いやすい施設という点で改善すべきところだと感じます。アンケートで10件以上同じことが書いてありますので、今年ではなくとも大体いつ位までにはやるということ、言った方が良くと思います。

事務局 去年のアンケートでもトイレに関しましては意見が出ていました。今回もかなりご意見がありまして、我々も考えていないわけではありませんが、どのような形で改善できるのかということと、体制的な問題もあります。そのあたりを含めて、いつぐらいを目途にというお話がありましたが、時期の部分に関しましては検討させていただきたいと思っております。何分財政的な話をしていないものですから、そこも含めて検討します。

委員 そうですね、是非具体的な時期をだしてあげたほうが良いと思います。

事務局 分かりました。

議長 この件については複数年出ていましたね。

委員 ずっと書かれるのだらうと思うと、気の毒だと思ひまして。見に行くと掃除はきれいにされているのです。

事務局 トイレについてですが28年度は匂いについての指摘が多かったのですけれども、29年度に換気扇部分の工事はいたしまして、それについては若干やわらいでいるかなと思います。

館長 清掃の部分でも通常清掃とはまた別に臭気対策の臨時清掃を行いました。一階トイレはだいぶ良くなったかと思ひます。

委員 床を張り替えて、照明を変えて、機器を変えるだけでだいぶ雰囲気は変わると思ひます。床がすごく暗い用を感じるので考えてください。

委員 利用者にアンケートを取って、直接生の声を聞き、色々な対応をしている点は良かったと思ひました。同じような話になりますが、アンケートに本当にいろいろなことを書かれてありますので、それらを改善、または取り入れるというのは大変かと思ひますが、可能なものから取り入れて、改善していただければと思ひています。

- 委員 図書館の利用を増やしたいという話ですけれども、私の周りで、バスの便が悪くて、図書館へ行きたくとも行かれないという声が聞かれます。図書館の問題ではないのですが、そこをどこか開通してもらえたら、もっと利用が増えるのではとったりしています。また個人的な希望ですが、子どもの一日司書体験のように、シニア世代にも一日体験があればいいなという希望持っていますので考慮をお願いします。
- 館長 大人の方向けについては、バックヤードツアーなど、図書館利用講座の中でご案内しております。ただ貸出体験となると、またいろいろと問題があるのでそちらは難しいかと思いますが、ただし本のビニールコート作業ですとか、また別の内容で検討できればと思います。
- 委員 図書館の裏側の体験ができたならまた興味深くなってくるかと思います。
- 館長 図書館に親しみを持っていただけるような大人向け事業ということで承知しました。
- 委員 アンケートの中で職員の方の対応が良いという意見が非常に多く、嬉しく感じます。また先ほどの検索についても、スタッフの方、人間でカバーしようとご苦労されている様子が読み取れまして、よく頑張っておられると感じます。今度更新されるということで期待できると思いますが、そういった人間でカバーしようとする姿勢は非常によろしいと、好ましく感じました。もう一点、先ほどの本の場所が分かりにくいという問題の改善はどのようなのでしょうか。十進分類法との兼ね合いで難しいところなのでしょうか。
- 館長 十進分類法というのがこういうものだというご案内をすると良いと考えています。十進分類法は言葉も硬く、図書館独特のジャンル分けと考えてます。たとえばジャンル分けなど言い方を変えて、興味を持っていただく。そうすると、検索でわかる部分とご自身の興味の範囲で本棚に直接行くというような使い方への誘導もできると思います。つまりピンポイントでこの本が欲しいということであれば検索するという探し方に加え、棚全体を見ていただき、自分が探す本以外の本で、関連する本を棚から選ぶといった探し方をうまくご説明して理解していただくと、また利用の広がりや違うかと思いますが、その部分知っていただき、便利だと感じてもらう取組も必要なのかととらえています。
- 議長 図書館のスタッフの方みなさん感じのいい方ばかりで、人的支援の「まなぶくん」などで学校に来てくれる方も子どもの扱いが上手で、すぐ教員ができそうな人ばかりです。子どもの名前を憶えてくれたりして、とても良いと思います。
- 議長 それでは、指標の4、郷土の資料について、ご発言をお願いします。
- 委員 郷土ガイドブックの作製が子ども達にとっては良かったと思います。今後の活用の仕方

次第とは思いますが、郷土について苦小牧を愛して育ててほしいなと思います。

議長 活用の部分は学校がする役目もありますので、部会のほうでも呼びかけていきたいと思っています。

委員 普段見ている、郷土資料室を利用している人が少し少ないと思います。ほとんど人がいないこともあるので、何かこの資料を活用したらこういう面白いことがあるよとか、地図もこういう風にやったらもっと面白いですよと、そういった提案やアドバイスがあったら、2階にもぎやかになるのではないかなと見ています。そこを何か考慮してもらえたらいいかと思っています。

館長 郷土資料に関する特集展示なども1階で行っておりますので、そういったときに、展示を見て終わりではなく、実際に2階に足を運んでいただくようにつなげたいと思います。また28年度に展示と併せてクイズを企画して、参考郷土資料室に上がっていただくということもしております。今スタッフのほうで新しい企画を計画していますので、いただいたご意見を伝えておきます。

議長 では最後5番です。ご発言をお願いします。

委員 皆さんからもお話出ておりますが、接遇などがアンケートで利用者から高く評価されているのを感じます。是非スタッフのみなさん一同これからも頑張ってくださいなと応援しております。

議長 他にはありますでしょうか。

委員 ボランティアの視点で意見です。大きな問題ではないのですが、児童室のお話コーナーを15年ほどずっと使っております。この何年かですのまにか部屋が常時開放されていたり、おむつ交換ベッドができたりカーテンができたり、いろいろと部屋の状況の変化がありました。それらは市民の立場で必要だから作られたと思いますが、その部屋を長年使用していた私ボランティアには何の連絡もありませんでした。環境が変わるのに、どうして一言もないのだろうという疎外感のようなものを感じました。何かまだコミュニケーションがまだ取れていないのを感じています。

館長 配慮が足りず申し訳ありません。

委員 私たちも努力してコミュニケーションとっていきたいと思います。

議長 他にはよろしいでしょうか。評価シートは5枚です。今ご発言いただいた部分、書いたものについて全てはご発言していないと思いますが、可能でしたら本日評価シートの提出をお願いしたいと思います。もっと記入したいという場合はお声かけください。

では平成 29 年度総合評価というコメントもありましたが、評価については以上で終了としたいと思います。最後に、議題 6 その他とありますが、評価、運営関係以外で何か意見をお持ちの方いらっしゃいますか。

議長 私から、お聞きしたいことがあります。これは図書館にというよりは教育委員会の方への質問となります。6 年前に指定管理の導入ということに協議を何回もしておりました。その中で平成 30 年が、26 年からの指定管理の最終年度ということになっていました。この 5 年で、指定管理を続けるか続けないかという話になるのかと思っていましたが、いただいた資料では、図書館の次年度以降の計画の中に指定管理を継続するという事になっています。継続と決定されていますが、図書館協議会でも話題になっていなかったようなので、どのように継続と決まったのか知りたいと思います。

事務局 図書館協議会では図書館の事業評価や、より良い図書館づくりというところで、みなさんから様々なご意見をいただいて進んでいくと考えております。指定管理については市の方で、こういう議論とは別にモニタリングという制度を持っております。そのモニタリングの中で適正な管理運営がされているか、そこは事業だけではなく、建物全体の管理についても含めて、毎年確認をしております。そのモニタリングにおいては、図書館の指定管理者の運営に一定の評価をしているということから継続していくという形に進んでおります。

議長 毎年のモニタリング評価の積み重ねで一定の評価を得ているので、そのまま継続ということですね。分かりました。他に何かございますか。

委員 昨年までの議論の中でも、指定管理に関しては評価しているという皆さんの意見だと認識をしております。

委員 30 年度が最終年度ということで、導入時のいろいろな問題点、懸念事項が出ていたと思いますが、できれば平成 30 年度で、その当時協議会の中で審議されていたものを検証する場がほしいと思っています。そうでないとあの時に審議してきていた懸念事項などは、共有されないで終わってしまいます。協議会の中で、メンバーが何を審議したのか、何を懸念すべきことだという風に答申としてまとめたかということ、指定管理 5 年が終わる年としてもう一回検証する時間が必要ではと希望を持っていました。

部長 そのことについてですが、平成 30 年度で終わる図書館基本計画。これの点検評価を年度末にやらなければなりません。計画の最後に載っています項目に沿って点検評価をする形になります。その時に、当時の議論と今現在こういう形で改善、運営されているところもお示しできるのではないかと考えていました。

議長 最後の評価にはこの図書館協議会に関わる部分があるということですね。

部長 計画の評価部分ということで関わります。

議長 その他よろしいでしょうか。以上をもちまして本日の議事は終了です。ご協力で議事を終えることができました。この後、事務局に進行をお返しいたします。

事務局 松井議長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様、本日も多忙の中お時間いただきありがとうございました。以上をもちまして本日の定例会終了となります。議長からもありましたとおり、5月末で任期終了となる委員の皆様には本日最後の会となりますが、これまでのご協力ありがとうございました。感謝申し上げます。

閉会 (午後16時30分)

<出席者>

○委員

松井操	人	会	長
深澤治	稔	副	会長
一谷誠	子	委	員
伊藤博	之	委	員
久保田	眞知子	委	員
八島	恵利子	委	員
藪田	美枝	委	員

○事務局

教育部	部長
同	次長
勇払公民館	館長
生涯学習課	課長
同	主幹
同	主任主事
同	主事
中央図書館	館長
同	チーフ

<欠席者>

○委員

松井	慶子	委	員
村本	充	委	員